

令和2年度 大学合格実績

Table with 2 columns: University Name (大学), Number of Students (人数). Lists various universities like 富山大学, 大阪大学, 九州大学, etc.

教養課程

Table with 2 columns: University Name (大学), Number of Students (人数). Lists universities like 東京音楽大学, 中部大学, 人間環境大学, etc.

普通課程

Table with 2 columns: University Name (大学), Number of Students (人数). Lists universities like 日本大学, 芦屋大学, 至誠館大学, etc.

医療福祉科

Table with 2 columns: University Name (大学), Number of Students (人数). Lists 熊本保健科学大学, 大分県立芸術文化短期大学, etc.

大阪大 1名 九州大 2名
九工大 1名 熊本大 3名
宮崎大 1名 鹿児島大 7名など

国公立・準大学
合計 19名合格

努力の成果
進学状況

令和三年三月現在において
大学・短大合格者は特進課程八十三名、教養課程二十三名、普通課程七名、看護学科専門課程一名、合計一四四名となります。

就職状況

本校では入学以来、一年次から段階的に進路指導を展開しています。
医療福祉科と看護学科では新型コロナウイルスの影響でインターンシップ(臨地・施設・介護実習)が実施できず、例年行っている進路ガイダンスや外部講師によるマナー指導なども実施できませんでしたが、就職希望者の全員内定に向けて、本校職員総力をあげて指導いたしました。

介護福祉士
国家試験概況

三月二十六日(金)午後二時、第三十三回介護福祉士国家試験の結果が発表されました。
本年度の本校受験者は十四名。うち十三名が合格しました。前回の全員合格を受け、「今回も」と生徒職員一丸となって国家試験に備えていきました。結果、本校の国家試験合格率は九十二・九%。全国の合格率が七十一・〇%、福祉系高等学校全体の平均合格率が八十一・五%であったことをみれば、全国でも高い合格率を維持しているとはいえず、やはり希望を叶えられず卒業していく生徒がいたことは、心が痛む結果だったというほかありません。

看護師国家試験概況

第一〇回看護師国家試験の合格発表が三月二十六日(金)にありました。本校では、看護師養成五年一貫教育へ移行後の十五期生として、八十名が受験しました。全国の合格者が九十四・四%の中、本校は九六・三%の合格率となりました。

令和2年度 国家試験・資格取得状況

Table with 4 columns: Qualification (資格区分), School Pass Rate (本校合格率), National Pass Rate (全国合格率), Number of Students (学科課程・人数). Lists 看護師国家試験, 准看護師試験, etc.



発行所
鹿児島県出水市西出水町
出水中央高等学校
TEL 0996-62-0500
FAX 0996-62-6677
https://izumi.ac.jp
info@izumi.ac.jp

校訓
「勤規協」
「労律調」
Illustration of a bunch of colorful grapes.

Table for '学校説明会' (School Open House) with columns: Date (日時), Location (地区), Venue (場所), Time (時間), Organizer (主担当). Lists events from 6/9 to 11/13.

Table for '中高連絡会' (High School and Junior High School Contact Meeting) with columns: Date (日時), Location (地区), Venue (場所), Time (時間). Lists events from 6/4 to 6/11.

体験入学 (Experience School) advertisement. Includes photos of students, text '見てわかる! 聞いて納得できる!', dates '7月31日(土), 8月22日(日), 8月1日(日), 21日(土)', and contact info.

障害者、子供、性的少数者など、いろいろな人が生きていく世の中を作っていくためには、これからは過去に読んだものや世界の動向からの影響もあるのだが、ここ数年の私自身の環境の変化によるところが大きい。障害を持つ子の親となり、ある意味当事者になったからだ。

紫尾嶺
障害者、子供、性的少数者など、いろいろな人が生きていく世の中を作っていくためには、これからは過去に読んだものや世界の動向からの影響もあるのだが、ここ数年の私自身の環境の変化によるところが大きい。障害を持つ子の親となり、ある意味当事者になったからだ。



校長 木山 博隆

令和三年度もwithコロナでのスタートとなりまして、四月六日(火)には始業式が、翌七日には第五十五回入学式、看護学科専門課程第四十二回入学式が挙行されました。

今年の始業式には、ちょうどしたサプライズがありまして、その日、青山学院大学の原晋教授(陸上競技部監督)が来校される日でしたので、無理を承知で在校生にご講話をお願いしたところ、快くお引き受け下さいました。ということで、原



PTA会長 山上 博樹

PTA会長に山上博樹様就任

今年度、PTA会長として重要な役割を担うことになりました山上博樹様です。生徒の学校生活をより豊かにするために、環境作り、出水中央高校の更なる発展のために、微力ながら取り組んで参りたいと考えておりますので、一年間どうぞ宜しくお願い致します。

昨年発生した新型コロナウイルスは感染拡大が続き、今年に入ってから全くと終息する気配は無く、我々の生活に大きな影響を与え続けております。特に医療従事者の皆様方は感染リスクと対峙する緊張状態の中で長期間奮闘されていることと思います。また、多くのエッセンシャルワーカーの方々も同様に大変なご苦労があると思っております。新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組んでおられる全ての方々へ感謝申し上げます。

また、出水中央高校の木山校長はじめ諸先生方も、オンライン授業対応、新たに導入された大学入学共通

先生の突然の登場に生徒達からは、驚きと同時に歓声が湧き上がりました。原先生の講話に基づいた感動的なお話と、これからの高校生生活をどのように考え行動すべきかの深い話は、今年度の始まりにふさわしい素晴らしい内容でした。良い年度へのスタートが切れたように思います。

次に、今年度も規模を縮小して行った入学式についての話題です。式典は、来賓のご臨席のない中、また保護者の皆様は教室でリモート中継を視聴して頂く中、本科生二七名、専門課程生五十二名のあわせて二八九名の新生と関係職員だけが出席して本校体育館で行われました。式辞では、本校の生徒としての自信と

誇りを持つこと、学習は自立的で主体的な学びを心掛けること、これからの社会に自分をどう役に立てていくかを考えること、三つをお願いしました。式は四十五分の短いものでしたが、その後保護者と担任の面談の時間を利用して、新生は体育館に残り歓迎セレモニーに参加してもらいました。生徒会長の歓迎の挨拶、生徒会役員による本校紹介に続き、吹奏楽部による歓迎演奏が三曲披露されました。今回初めての試みでしたが、新生の皆さんには、慣れない学校生活の始まりに、少しでも本校の和やかな雰囲気を感じ取り、一時と成ったようです。

会員の皆様もご承知の通り、昨年は出水中央高校に限らず、全国の小中学校、高校、大学、更には多くの組織や団体においても計画されていた行事は中止か延期、もしくは規模縮小されたの開催となったケースが多かったのではないのでしょうか。人々の中に身を置き切詰ることで子供たちは成長していくものですが、新型コロナウイルス発生以来、子供たちは多くの成長機会を奪われてしまつたように思います。教室に集まり皆で高め合う日々の授業、厳しさを乗り越えて夢を掴む部活動、皆で力を合わせて創り上げる文化祭や体育祭、見識を広げることが出来る修学旅行等々、多くの学びの機会が奪われました。今年に入つても新型コロナウイルスは感染拡大の一途を辿つております。最近では各種変異株が世界各地に於いても、日本国内に於いても感染が広がり、

これまで以上に医療崩壊への緊張感が増してきております。

今年度も新型コロナウイルス感染症と向き合いながら生活する厳しい状況は続くと思われませんが、子供たちの有意義な学校生活の実現、進学や部活動の目標達成の為に、我々PTA役員も親目線からの様々な意見や提案を学校側に行い、生徒の皆さんが前向きに頑張れる環境作りの一助となれるよう取り組んで参ります。保護者の皆様におかれましては行動自粛が求められる中ですが、学校運営やPTA活動に對しての御理解と御協力をお願い致します。また、コロナ禍の中で子供たちが将来を悲観的に捉え、各々の夢の実現に向けて学ぶこと、努力することを諦めて、安きに流されることが無いように、子供たちの変化に目を配り、心の声を受け止め、しっかりと支えていくよう、我々保護者もこれまで以上に頑張つて参りましょう。どのような状況であれ、生徒ひとりひとりが多くの友達や先生方、保護者の方々、陰で支えてくださっている地域の方々や後援会の方々との交流の中で、心豊かに、賢く、逞しく成長していただけるよう祈念致します。

新任紹介

- ①最終学歴
- ②趣味
- ③好きな食べ物
- ④目指す教師像



永迫 康久 先生 (英語科)

①京都外国語大学大学院
②居合道、妖怪(フィギュア多数、事典多数)、モデルガン(二百丁以上)、プラモデル、六十年代ヒーロー、Star Wars、Star Trek 関係のDVD及びグッズ、UMA関係、日本漫画の英語版
③嫌いなものはありません。
④テレビを見ますと英語教室のコーナーシヤルをよく見ます。そういう意味では世の中に出て必要になる可能性の高い英語ですが、どうしても苦手意識を持つている人もいます。これまで何とか興味を湧かすような授業ができてきたと少しずつ考えながら教えてきました。英検対策はもとより、時事ネタや日常生活に関連のある表現、でも入試に出そうな表現を教えることも何とか英語に興味を持ってもらえるような教え方ができる先生になりたいですね。また、英語は単なる道具にすぎません。英語を通して世界を通じたものの見方ができる、そういう生徒も育てられる先生になればと思います。



江口 裕輔 先生 (地理歴史公民科)

①鹿児島大学
②ようつべ鑑賞
③柿餅
④「マイ黄金比率 17...3」
(「理解が先か? 暗記(記憶)が先か?」については、未だに答えを見出せていない状況ですが、ただ一つ言えることは、覚えておかなければテストでは点数が取れないということ。私、えぐどんが生徒の皆さんに、覚え方のコツを「愚直に、楽しく、オヤジギャグ満載」のG・T・Oにて、指南してきたらいいなと思つています。皆さんにお願いがあります。私のことは嫌いなでも、地理のことは嫌にならないで下さい!



桐原 竜祐 先生 (数学科)

①山口大学大学院理工学研究科 数理学専攻
②旅行・ドライブ
③みかん・ぶどう等くだもの類
④数学は、一つの問題に對して必ず一つの答えが存在します。その答えに自力で辿り着けたときの達成感に、数学の楽しさがあると思つています。その楽しさを、皆さんと一緒に共有できたらと考えています。また、一つの答えに辿り着くために様々な解法があるように、一つの考え方にこだわらず多様な考え方ができるように、生徒の皆さんと一緒に切磋琢磨して頑張つていきたいと考えています。



池袋 玲子 先生 (募集企画担当)

①日本体育大学
②旅行、買物、SUP、シーカヤック、多趣味です。
③うどん、白飯、小籠包、好物が多すぎて。差し入れ大歓迎です。
④接遇・智・徳・體を高めながらいきいきと朗らかに学校生活を送る皆さんの姿を内外に発信する仕事に携わっています。どうぞ声をかけてください!



尾崎小百合 先生 (看護学科)

①阿久根市民病院附属看護学校
②ストレッチとジョギング
③トマトとイチゴ
④人を育てることが自分を磨き自分を育てていくことでもありま。粘り強さをもち、学生一人一人の可能性を信じ、学生に希望をもたらし「未来の架け橋」となるような教師を目指したいです。



木場 美咲 先生 (看護学科)

①出水中央高等学校 看護学科専門課程
②お酒を飲むこと
③エイヒル
④始業式で講演をされた青山学院大学の原監督のような、ユーモアもありつつ感動を与えられるような、生徒に寄り添える、また生徒と尊重しあえる教員でありたいと思います。日々の生活から学校行事まで生徒の皆さんと正面から向き合い、一緒に全力で学校行事を楽しんでいきたいです! よろしくお願ひします。



栗山 健一郎 先生 (第三女子寮寮監)

第三女子寮寮監
栗山 健一郎 先生
①宮之城農業高校
②ゴルフ
③竹の子
④学生が勉強に集中できる環境を作る第三女子寮にしていきたいと思ひます。

入学式

四月七日(水)、十時から令和三年度の入学式を挙行しました。式そのものは、簡略化し約四十分という短いものでしたが、参加した生徒の皆さんは、真剣な表情と態度で臨み、入学した意義を十分に感じ取ってくれたようでした。また、インターネット中継により参加された新生や保護者の方も多かったようです。ご参加いただきありがとうございます。



駅伝部

男女駅伝部は出水市陸上競技場を中心に活動しています。陸上競技の究極の目標である「より速く!」をどん欲に追求し、競技力の向上に熱心に取り組む集団でありたいと思つております。「向上心」・『探求心』・『感謝の心』を忘れずに全国高校駅伝出場を目指します。東京オリンピックの女子マラソン代表、一山先輩に続きたいと思つております。

吹奏楽部

私たち吹奏楽部は、吹奏楽練習ホールでのとても恵まれた環境で毎日練習に励んでいます。一昨年は、九州吹奏楽コンクールで金賞を受賞、昨年度は新型コロナウイルスの影響によりコンクール等は中止となりましたが、出水での演奏会を開催し、その模様をオンライン配信により、多くの方に視聴していただきました。今年度も開催予定の吹奏楽コンクール、演奏会、その他にも各種行事でも演奏をいたします。吹奏楽を通してたくさんの方々や交流し、感動的な音楽ができるように頑張つていきます。これからの吹奏楽部の応援をよろしくお願ひします。

強化指定部の紹介

サッカー部

今年度のサッカー部は18名の1年生を迎えて、2年生30名、3年生15名の63名で活動を始めることができました。人工芝サッカー一場の最高の環境で未だ成し得ていない全国大会出場を果たす為に、来るべき日に向けて「勝つ準備」を日々積み重ねていきます。

野球部

野球部は、城須智也監督のもと、甲子園出場と人間力の向上を目標に日々鍛錬しています。屋内練習場をはじめ、環境の整った専用球場で思う存分野球に打ち込み、「出水から甲子園」を合言葉に甲子園初出場を叶えます。